

岐阜新聞真学塾

出題 蛭雪ゼミナール

岐阜駅前校・築樋拓真



国語を様々な側面からみて、日本語の面白さや深さを知ってもらえればと思います。

問題【国語】

次の言葉は感謝を伝える「ありがとう」を表す方言です。どこで使われている方言か考えましょう。

- (1) きのどく
- (2) だんだん
- (3) おおきに

豆知識 雑学コラム

「感謝」の言葉いろいろ

今日は「ありがとう」についてみていきましょう。「ありがとう」は「有り難い」と漢字で書いて、「存在する（ある）ことが難しい」、「めったにないこと」という意味から転じて感謝を伝える言葉になりました。「ありがとう」以外にも感謝を伝える言葉はたくさんありますが、地域ごとに違いがあるようです。今日はそんな方言ごとの「ありがとう」を見ていきましょう。

(1) の「きのどく」は富山や石川など北陸地方でよく使われる言い方ですね。地域的なつながりもあって岐阜県でも使っている方が多いのではないのでしょうか。「気の毒」はもともと「自分の気持ちにとって毒になる（よくない）」という意味で標準語では、他人の不幸に同情する場合や、他人に迷惑をかけて申し訳ないときに使います。「相手にこんなに良くしてもらって、悪い気がする」ということで「きのどく」で感謝を伝える意味になっています。

(2) の「だんだん」は2008年にNHKの朝の連続テレビ小説のタイトルにもなったことでも知られている島根の方言ですね。「だんだん」は漢字で書くと「段々」と書き「何段も重ねる」という意味です。つまり「だんだん」は「重ねがさね、いろいろとありがとう」という意味で感謝を伝える言葉になりました。この「だんだん」は島根以外にも愛媛や熊本でも使われます。これはもともと「だんだん」が京都で使われていた言葉で、それを京都で覚えた人が他の地方で使い、京都であまり使われなくなった後も他の地方では残ったためと言われています。方言には、こうした離れた地域で同じ言い方になっているものもたくさんあります。調べてみるのはいかがでしょうか。

(3) の「おおきに」は岐阜県でも使いますが、関西地方で特によく使われる言い方ですね。「おおきに」は「大いに」が転じたもので「非常に」や「大変」を表し、「非常にありがとうございます」という意味ですね。大阪の関西国際空港を拠点としている格安航空会社のPeachでは、機内アナウンスで「ほんま、おおきに」とあいさつをすることで、「大阪らしさ」をアピールしていると話題になりました。方言には、その地域らしさをアピールする道具のような働きもあるのですね。

さて、3月、4月は出会いと別れの季節で、自然と感謝を伝える機会の多い時期です。感謝を伝える言い方はたくさんありますが、どの言葉を使うにしても気持ちを込めて、快く伝えられるようにしたいものですね。

【解答】

岐阜県 (3) 富山、石川、福井、滋賀 (2)

石川、山梨、岐阜 (1)